



福島県 田村市

福島県田村市船引町船引字馬場川原20
 担当課:保健福祉部 保健課
 〒963-4393
 ☎ 0247-81-2271 FAX 0247-82-4555
<http://www.city.tamura.lg.jp/>
 Eメール: hoken@city.tamura.lg.jp

本市のデータ

(1)面積 458.30km² (平21.1.1)

(2)人口 (人)

12国調	17国調	22国調	平24.10.31住基
45,052	43,253	40,422	39,020
65歳以上人口比率(22国調)			28.9%

(3)世帯数

12国調	17国調	22国調	平23.6.1住基
11,806	11,902	11,932	11,790

(4)沿革

平17.3.1合併(市制施行) 滝根町 大越町 都路村 常葉町 船引町
--

(5)産業構造

区分	就業人口 60国調	就業人口 17国調
1次	11,110人 41.1%	4,445人 19.9%
2次	8,742人 32.3%	8,673人 37.8%
3次	7,190人 26.6%	9,255人 52.8%
計	27,048人	33,111人

本市の概要

田村市は、阿武隈高原の中央に位置し、日山、移ヶ岳、鎌倉岳、高柴山、大滝根山、羽山などが連なり、これらの山々と小さな山々によって丘陵起伏が縦横に連続する地形となっています。これらの山岳を源に、大滝根川や高瀬川など多くの河川が地域を流下します。

観光面でも、この高原ならではの多くの見どころ・体験どころが点在し、その風土とぬくもりを伝える特産品も多くあります。特に、食品の国際品評会「モンド・セレクション」で、特別に優れた製品だけに贈られる最高位の「大金賞」を2004年～2010年と7年連続で受賞した「あぶくまの天然水」は、「あぶくま洞、入水鍾乳洞」という2つの鍾乳洞のもととなっているカルスト台地の石灰岩層を長い年月をかけ浸透してきた地下水をくみ上げたミネラルウォーターです。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

市の一部は東京電力福島原発より30km圏内にあり、震災後は避難を余儀なくされました。現在でも20km圏内は避難指示解除準備区域に指定されており、4か所の仮設住宅や借上げのアパートなどでの生活を継続している方も少なくありません。また、避難していない市民も健康への影響、偏見や風評被害など、心身ともに疲労状態が続いています。

自殺率(10万人対)は平成18年の65.6をピークに減少傾向がみられ、平成21年は21.8となりましたが、平成23年は35.4と再び増加傾向にあり、特に高齢者の自殺者が目立つようになりました。

地域住民が、これからの生き方に希望をもち、自殺者が増加しないことを目的に、各関係機関と連携しながら、心の健康相談会の開催やターゲットを絞った普及啓発、相談者の援助技術の向上などを行っています。

<具体的な取組み>

1. 対面型相談支援事業の充実

- (1) H17年～ 臨床心理士による月1回の「心の健康相談」を実施(相談料無料)
- (2) H21年～ うつ病等自殺危惧者に対する臨床心理士による緊急的な相談への対応(相談料無料)
相談後に必要に応じて関係者とケア会議を開催。

2. 啓発活動

(1) 自殺予防街頭啓発

- H21年度～ 保健所とともに市内ショッピングセンターにて自殺予防街頭啓発
○H21年度 市内の観光イベントにて自殺予防をPR
○H25年度 復興イベント「元気祭り」の際に啓発用グッズを配布し、自殺予防をPR

(2) パンフレット等の配布

- H21年度 ①「早く気づいて！心の病気」(全戸配布)
②「1人で悩まないで！相談窓口」(田村市オリジナル・全戸配布)
○H24年度～① 生徒向け自殺対策「あなたの将来のために、知っておいてほしいこと」
(H24年度は中高生全員に配布、H25年度は中学1年生に配布)
②「産後のママのメンタルヘルス」(母子手帳交付時に配付)
③「お母さん、赤ちゃんは泣くのが仕事です」(乳児訪問の際に配付)
④「うつ予防のためのチェックと知識」(特定高齢者等訪問等の際に配付)

(3) 図書を通じた啓発

- H22年度～ 市内各図書館における「心と命のサポートのためのコーナー」設置
○H23年度 市内中学校へ「心と命のサポートのための本」購入費助成

(4) 「命を守るイベント」の開催 (H23年度は田村地域合同、H24年度は市開催)

- H23年度 ① 講演会&トークライブ 演題「がんばらないでもあきらめない！」
講師：諏訪中央病院名誉院長 日本フェルグバド連帯基金理事長 鎌田實氏
ファッション評論家 シャンソン歌手 ピーコ氏
② フルーツミニコンサート クロイツ音楽学院学院長 佐藤真人氏
○H24年度 ① 講演会 演題「震災から1年半を迎えて」～心元気に明日を迎えるために～
講師：防衛医科大学校 精神科学講座講師 重村淳氏
② 夫婦漫才 林家ライス・カレー子
「人生山あり谷あり」～笑いをとおして自殺予防を考える～

3. 健康教育・講演会

- (1) H21年度 ①「うつ病の予防と治療について」 講師：精神科医師
②「ストレスについて」～ストレスと上手につきあうために～ 講師：臨床心理士
③「命の尊さを考える」 講師：福島自死遺族ケアを考える会(れんげの会)
(2) H22年度 ④「気づいてほしい、心の病」～うつ病の予防と早期対応について～ 講師：精神科医師
⑤「わかっているけどやめられない！それって病気かも？」～アディクションについて～
講師：精神科医師
(3) 「10代の心の健康を守るための授業」 講師：心象心理士等
・平成23年度 市内中学校6校の生徒または保護者、市内高校教員(延 477名)
・平成24年度 市内中学校5校の生徒、市内高校教員(延 539名)
・平成25年度 市内中学校5校の生徒、市内高校教員(予定)
(4) 「働く世代のメンタルヘルス」 対象：従業員50人以上の事業所
講師：あさかストレスケアセンター 臨床心理士、精神保健福祉士
・平成24年度 2事業所(延 89名)
・平成25年度 3事業所(予定)

(3) 人材育成

- 「きづく、つなぐ、まもる相談支援者研修会」
内容：3回コース(自殺の現状、心の病気、自殺危機初期介入ワークショップ、
相談者の立場から、相談窓口の紹介など)
対象：民生児童委員、介護支援専門員、企業における担当者等
・平成23年度 参加者実人数 49名
・平成24年度 参加者実人数 47名

- H24年度～ フォローアップ研修会